

シルバー人材センター



シンボルマーク

会 員
ニ ュ ー ス

ゆんたく

発行所

社団法人沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原3丁目1番1号

電話番号(098)929-1361

http://www.okinawasisi.com

5月末現在の会員数794人

(男性451人・女性343人)



沖縄県シルバー人材センター連合会長
名嘉元 甚勝 様



沖縄市議会議長
仲宗根 弘 様



沖縄市副市長
島袋 芳敬 様

来賓祝辞



理事長
嘉陽 榮恵

平成23年度(社)沖縄市シルバー人材センター通常総会が5月30日(月)、沖縄市農民研修センターで開催されました。
(2345面に関連)

“平成23年度通常総会”開催



仲宗根 正英 議長

総会は午後2時に開会され、嘉陽理事長の挨拶、来賓の方々の祝辞に続き、出席会員の中からコザ中校地区の仲宗根正英さんが議長に選ばれ、総会定足数614人(出席者数267人、委任状提出者数347人)を確認後、審議に入りました。

第1号議案、平成22年度事業報告
第2号議案、同収支決算報告

(監査報告)
第3号議案、公益社団法人への移行について

第4号議案、定款の変更について
第5号議案、公益社団法人当初の役員について

第6号議案、会費規程について
第7号議案、役員の報酬及び費用に関する規程について

第8号議案、理事会に対する権限委議が審議され、全て原案通り承認されました。

第2部懇親会では、三線同好会・琉舞同好会による「かぎやで風」で幕開け、理事長挨拶、乾杯の後琉球民謡「安里屋ユンタ」「めでたい節」等が披露された。最後は「カチャーシー」で締めくくり。

シルバー人材センターの理念

自主 自分のものとして考え

共働 一緒になって働き

自立 自分たちの力で育てる

共助 お互いに助け合う

「通常総会」理事長挨拶要旨

活発な議論を期待!

平成23年度総会を開催するにあたり、ご挨拶を申し上げます。

本日は、ご多忙のところご臨席いただきました沖縄市長東門美津子様、沖縄市議会議長仲宗根弘様、沖縄県シルバー人材センター連合会長名嘉元甚勝様はじめ、各拠点センターの役員員の皆様にお礼を申し上げます。

去る3月11日に発生した東日本大震災は、大地震、大津波に福島第一原発危機が加わり、死者・行方不明者2万7000人余となり、避難生活者も十数万人と未曾有の大災害をもたらしています。当センターもいち早く義援金募集に取り組み、日本赤十字社と全シ協に合計47万8447円を送付いたしました。皆さんのご協力に心から感謝申し上げます。

なお、今後とも可能な限りの支援をしていかなければなりません。

さて、昨年度は、会員の皆さんが知識や経験を活かし、誠意ある丁寧な就業そして、行政、民間会社、市民の皆様の御理解により、契約金額3億6千2百万円と大きな成果を上げることができました。

また、各中学校地区においては、会員自ら考え、ボランティア活動や各種の活動を展開し、センター事業の推進にご協力いただいているところ です。

なお、昨年4月から設置した就業相談(毎

週月、水曜日)には、252人の方がお見えになり、就業、入会相談や就業現場における相談などその内容も種々あり、相談業務の重要性を再認識したところです。

厨房を活用した弁当販売も調理内容の工夫により、会員の就業現場、行政、近隣の事業所のご協力を得て順調に推移しています。

都市公園管理業務は、公園管理事務所の職員の努力と会員の経験や技術を活用したサー



ビスの向上、効率的な管理運営に努めてきたところです。なお、今年度は指定期間3年目の最終年度にあたり、再指定に向けて準備をすすめてまいります。

「ゆんたくまちや」については、きびしい運営状況の中、今年度で国の補助金が終了することから、「ゆんたくまちや」再生特別委員会を設置し、これまでの事業内容を検証し、現状維持ではなく、「新たな発想に基づく再生計画策定」の作業を開始したところです。

ところで、前「中期事業計画」は、平成22年度で終了となることから、平成23年度から始まる「中期事業計画」を策定し、理事会で決定しましたので、会員の皆さんに配布致します。

本日の総会では、平成22年度事業・決算報告に加えて、新公益法人の施行にともない、公益社団法人へ移行するための定款、規程等の改正を提案しています。本総会で諸議案が承認された後、7月頃から移行申請を開始する予定です。認定されれば平成24年4月1日からは新法に基づく公益社団法人としての新たな出発となります。

3月総会でも申し上げましたが、新公益法人制度では、事業運営の透明性(情報公開)、法令遵守、自己責任の構築が求められています。当然のことですが、事業活動の内容を地域に公開すること、法律、規程等をしつかり守ること、会員自ら責任を持って事業経営をすることです。

そのためには、会員、役員、事務局職員がそれぞれの役割を認識し、責任を持って職務を遂行することです。

公益社団法人として地域に貢献するシルバー人材センターをめざして共に頑張ろうではありませんか。



中期事業計画が策定されました！

平成23年度～27年度

～ 地域に貢献するセンターをめざして ～

平成18年度～平成22年度までの前中期事業5ヶ年計画は、大きな成果を残し平成23年3月末で到達期間となりました。急速に進展する超高齢社会の中で、生きがいを創出し地域の活性化に貢献する事業の更なる発展を目指し、新「中期事業計画」を策定しました。

一、計画策定の基本方針

高齢者の就業機会の拡大・安定を図り、健康の維持、経済環境の良化により、「高齢者の生きがい」を創出します。働く高齢者の拡充により、社会負担及び自治体の財源の軽減に寄与するため、普及啓発活動を積極的に推進します。

高齢者の経験・知識・知恵等を最大限に生かし、福祉活動を推し進める事により、明るく豊かな地域社会の創造に貢献します。

「会員による、会員の為の、会員の団体」である事の意識の徹底を図り、それを地域社会に波及させ、将来的には会員数を市高齢者人口の1割を目指すことにより「誇りと尊厳が持てる公益社団法人」としての市民権を確立します。

二、具体的内容・方策

会員の増強

急速な高齢化の進展が予測される中

で、当センターがはつきりした目標を立て高齢者や地域社会への貢献、又期待に込めるために、より一層事業の拡大・拡充と創出及び会員の増強を図ります。

就業機会の確保・拡大及び創出

センターの事業においての最大の課題であり、特に受注件数の少ないホワイトカラー層の就業分野の拡大、併せて適正・公平な就業機会の提供を図っていきます。

安全・適正就業の推進

安全を第一に考えた就業体制を構築するとともに、契約書の就業内容等を再確認し適正就業を図る。

又、安全・適正就業の徹底を図るため、安全就業委員会及び推進員を中心として

種々の施策を推進します。

運営体制の強化・充実

・組織の充実・活性化

理事会を始め、専門委員会の更なる充実、地区・地域班の活性化、職群班の活動促進、事務局体制の強化に努めます。

・財政基盤の確立

厳しい財政状況の中、公共及び民間とも仕事の受注に関しては大変厳しさが増してきています。自主財源の大幅な見直しにより、運営費の財源確保を果たします。

公益社団法人への移行

関係機関や地域団体との連携をより密にし、センター事業と共存を図ります。

沖縄市人口推移 & 中期事業計画数値目標

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市総人口(人)	135,363	136,125	136,624	137,060	137,880
60歳以上人口	28,760	30,250	31,624	32,276	33,683
入会率(%)	2.7	2.9	3.1	3.3	3.5
会員数(人)	776	877	980	1,065	1,178
就業率(%) (月平均就業率)	82.0 (66.0)	84.0 (66.3)	86.0 (66.5)	88.0 (66.8)	90.0 (70.0)
就業実人員(人)	636	737	843	937	1,060
契約金額(千円)	366,222	377,100	387,978	398,856	416,985

第2回 理事会開催

22年度「事業・決算報告」承認!

去る5月17日(火)、シルバーワークプラザ会議室に於いて、第2回理事会が開催されました。

「本日は、総会前の理事会という事で多くの議案を提案しております。十分な審議をお願いしたい」との嘉陽理事長の挨拶がありました。

報告事項では、23年4月の事業実績と経過報告が行われた。

会員数では、前年比97人の増、受注件数・配分金で同4%、契約金額では、18%(440万円)の伸びを示した。

議題では、

第1号議案「正会員の承認」では6人(女性2人・男性4人)が承認された。その結果、5月17日現在の会員数は794人(女性343人・男性451人)となった。

第2号議案「平成22年度事業報告」

第3号議案「平成22年度収支決算報告」

第4号議案「役員報酬及び費用に関する規程について」

第6号議案「『ゆんたくまちや』再生特別

委員会の設置について」

第7号議案「中期事業計画(平成23年度

27年度)について」(3面に概要)

第8号議案「公益社団法人当初の役員につ

いて」それぞれ承認された。

続いて総務広報委員会に付託された、平成23年2月15日理事会提案第3号議案「定款の変更について」及び4月15日提案第2号議案「会員会費規程について」、同第3号議案「事務費規程について」崎濱委員長より修正案が提示され、審議の末委員長報告通り承認された。

最後に当面の日程が確認された。

会員数、契約金額、就業延べ人員で大幅増!

22年度事業報告より

会員の拡大については、市及び職業紹介室との連携により、会員入会が促進されました。

就業機会の確保・創出では会員による就業開拓、就業相談窓口(年間252件)の開設、各種講習会による技能の向上を図り、就業人員の増加に寄りました。

安全・適正就業の面でも、事故件数が前年比大幅に改善されました。

沖縄市都市公園(指定管理者)受託事業では、自治会との連携を深め、市民サービスの充実が図られました。組織体制の充実・強化の

面では、理事会の活性化による理事主導型運営の推進に努め、(イ)三役調整会議(正副理事長・各専門委員会委員長会議)の適宜開催や理事会の毎月開催。(ロ)各専門委員会・作業部会(総務広報委員会:4回、安全就業委員会:5回、福祉家事委員会:7回、就業委員会:5回)の開催で問題意識の迅速な対応と強化に努めました。

ボランティア活動では、各中学校地区主体の清掃、又、独居老人宅の旧盆前の清掃等に多くの会員が積極的に参加、地域との交流に大きく貢献できました。

「ゆんたくまちや」再生特別委員会新設

「ゆんたくまちや」は、企画提案方式事業補助金及びチャレンジシップ事業補助金を活用し運営してきたが、経営状況は厳しく、国の補助金が本年度で終了することから、今後の安定的な運営をするため、「再生特別委員会」を設置し、再生計画を策定することとなりました。

委員会構成メンバー

委員長	諸喜田 信敏
副委員長	森竹 邦良
委員	識名 章
委員	崎濱 和秀
委員	池原 保
委員	金城 洋子
委員	中島 位枝

任期は平成24年3月31日

第3回 理事会開催

「会員会費規程」承認!

去る5月20日(金)、シルバーワークプラザ会議室に於いて、第3回理事会が開催されました。

「本日は5月30日開催の総会に提案される、直接会員に関する会員の会費規程について議論いただきたい」との嘉陽理事長の挨拶があった。

第1号議案「会員会費規程について」は会員の年会費(現行2000円)を公益社団法人移行後3000円とする案等について示された。多くの時間をかけて議論の末、提案内容通り承認された。

第1回地区長・地域班長会議開催

去る5月6日(金)、平成23年度第1回地区長・地域班長会議がシルバーワークプラザ会議室に於いて開催された。

「地区長及び地域班長は、会員一人ひとりの情報を的確に把握できる組織づくりが大切。そのことがシルバー事業を生かすことに繋がります」と嘉陽理事長の挨拶があった。

その後、地区・地域班の今後の活動について、「住宅用火災警報器」設置業務についてそれぞれ討議された。

「ゆんたくまちや」

健康講話テーマ 「下肢静脈瘤」

5月の「健康講話」は「下肢静脈瘤について」でした

足のポコポコが気になりませんか

「下肢静脈瘤」とは、下肢の静脈が太く浮き出ているものを言います。(写真左上)

講師には、中部徳洲会病院の池村綾先生にお願いしました。

「下肢静脈瘤への罹患率は女性が男性の3倍、予防法としては、長時間の立ち位を避けること。ふくらはぎの筋肉を鍛えること。立ち仕事の方は、足を上げて休むことも効果的」との事。「難治性皮膚潰瘍」等余病の原因となりしますので、放置は禁物です。 〓 池宮隆 〓



中部徳洲会病院
心臓血管外科部長
池村綾氏



6月の「ぬちぐすいタイム」ごあんない

健康講話テーマ

「一次救命処置法」

今月15日(水)の健康講話は「一次救命処置法」がテーマです。

この救命処置を早期に行う事によって、救命率を飛躍的に上げることが可能である。心臓停止から何も処置せずに3分が経過すると、死亡率は50%を越えてしまいます。

講師は中部徳洲会病院

手術室師長「曾根 史郎先生」

大切な方の命を守る健康講話へ是非ご参加ください。

日時 平成23年6月15日(水)

午後2時～4時

場所 「ゆんたくまちや」

6月の「ぬちぐすいタイム」は沖縄伝統芸能でお楽しみいただけます。

【民舞・美ら島音頭】

6月1日(水)・8日(水)

午後3時～5時

指導は安和 末子先生

【琉舞・汀間当】

6月22日(水)・29日(水)

午後3時～5時

指導は渡久地 悦子先生

「駐車場整理業務講習会」

初参加者含め45人が受講

管理群班（班長・嘉川宗義）では去る5月18日（水）、19日（木）の両日、シルバークンクラブ大会議室に於いて、駐車場整理業務についてのサービスとマナーの向上を目指して、今年度第1回目の講習会を開催しました。講師には東洋ワークセキユリティ株式会社沖縄中部営業所、業務の新城 安邦氏をお迎えしました。



新城 安邦 講師

参加者は45人（管理群班36人全員出席）、熱の入った講習内容に真剣な眼差しで聞き入っていました。講師の新城さんは以前ホテルマ

ンとして接客業務についていたそうで、その体験を活かした講義は非常に分かり易い内容でした。



初日・2日目の講習会には初参加者10人を含む45人が受講



お客様から、「お褒めの言葉」

講習会の翌日、市役所へ来庁されたお客様から、編集部へ次のようなメッセージを頂きました。

「5月20日、9時頃本庁駐車場へ入ったところ、地下入り口におられたシルバークンクラブ会員に親切・丁寧以案内して頂きました。言葉づかいも態度も大変良かったです。その日は一日清々しい気分が過ごすことが出来ました」と話してくれました。（当日は、安里昌栄さん、田中春一さん、西平仁さんが就業していました）

嘉川宗義管理群班長は、「大変うれしいお言葉！。講習会で教わった事を素直に実践し、今後ともお客様に信頼されるシルバークンクラブ会員を目指します」と感想を述べておりました。

コザ中校地区 ボウリング大会開催のお知らせ

コザ中校地区（地区長・松江義男）では、会員相互の親睦と体力増強を目指し、恒例のボウリング大会を開催します。皆さまと楽しい一日を過ごしましょう。



- ・日時 平成23年6月22日（水）
午前9時スタート
- ・場所 コザ・ボウリングセンター
- ・会費 400円
- ・申込み 各班長へ6月12日まで、お申し込み下さい

会員の広場

でいご



冷えつゝの被災地思えば温かき
布団に寝る有難さ沁む

大宜味の湿田一枚紫に
オクラレルカの花の色冴ゆ

作 スイマー（コザ中校地区）

このコーナーは会員の広場「でいご」として、会員の投稿、作品を掲載いたします。

応募要項

琉歌・川柳・俳句・詩・短歌・コラム・体験談・漫画・私の武勇伝・面白い話・怖い話等お待ちしています。又、当センター及び『ゆんたくまぢや』へのご意見、ご要望も是非お寄せ下さい。

匿名、ペンネームでの掲載は自由ですが、応募に際しては会員番号明記の上、総務・広報委員会まで。

「寺小屋キッズ」が スケールアップします

シルバーワークプラザ1Fで行っている「寺小屋キッズ」に現在7人の生徒さんが参加しています。

この度、同2Fへ移転し、生徒さんの数も倍の15名に増やし、人員、内容共にスケールアップを図ります。また、夏休みの特別カリキュラムも計画しています。

会員のご親族、友人等のご参加をお待ちしています。

お申し込みは6月30日までに事務局まで

夏休みの特別カリキュラム

開催日 8/1～8/31迄の

毎週 月・水・金曜日

水曜日午後はレクリエーション

(食事つき)

費用 一人につき11,500円/月

レクリエーション内容
会員による、工芸・絵画・音楽等
指導ワークショップ
収穫し、作り、食べる食育指導
屋外でのレクリエーション等



楽しく学習する現在の「寺小屋」

「農業同好会」 結成のお知らせ

沖縄市シルバー人材センターでは、7月立ち上げを目標に「農業同好会」を発足致します。自宅の庭等で趣味を生かしている方も多いと思われれます。

また、近い将来は「ゆんたくまちや」での農産物販売、弁当販売への素材提供等実益を兼ねた「同好会」を目指していきたいと考えています。農業への関心がある方、ぜひこの機会にご参加ください。

世話人 又吉綱一

(連絡先)

事務局 森竹邦良 929 1361

刈払機取扱講習会のお知らせ

「技術・技能の向上を目的に」

開催日・平成23年6月29日(水)

午前9時～12時

場所・シルバーワークプラザ大会議室

草刈実施場所 倉敷ダム(予定)

・参加者が少ない場合には、翌月合同開催になります。

・参加希望者は6月27日(月)迄事務局までお申し込みください。

電話での受付は出来ません。

6月の予定

10日(金) 午前10時

新入会員説明会

17日(金) 午前10時

理事会

15日(水) 午後2時

「健康講話」

「一次救命処置法」

於・ゆんたくまちや

29日(水) 午前9時

刈払機扱い講習会

5月新入会員紹介

5月は女性2人・男性4人合計6人の方が新会員として入会しました。各地区の皆さんよろしく。

呉屋 順子 (美東・東中校地区)

北川 洋江 (美東・東中校地区)

瑞慶山 謙一 (美東・東中校地区)

比嘉 定一 (山内中校地区)

比嘉 達信 (越来・宮里中校地区)

野原 正夫 (美里中校地区)

「赤十字社」から御礼状

社団法人 沖縄市シルバー人材センター様

日本赤十字社沖縄県支部

支部長 仲井眞 弘多

「東日本大震災義援金」について

時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

赤十字事業につきましては、平素から格別のご高配とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度は、出費ご多端の折にもかかわらず、平成23年東北関東大震災への義援金をお寄せ頂き心より感謝申し上げます。

現在、被災地や全国の救護者による復旧に向けての活動が行われておりますが、被災者の生活の立て直しには、かなりの時間を要するものと存じます。

日本赤十字社では、被災者の救援を行っており、あなた様からお寄せ頂きました義援金は、配分委員会をとおして被災者救援のために活用されます。

あなた様の善意は被災者の方々にとりまして、物心両面にわたり大きな励みになるものと存じます。

日本赤十字社は、このような災害救援活動をはじめ、国際救援活動、医療施設及び福祉施設の運営、救急法・家庭看護等の普及、赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成、医療に必要な輸血用血液の確保のための献血の推進等、人の生命と健康を守るための諸事業を行っておりますので、今後とも赤十字事業に特段の御力添えを賜りますようお願い申し上げます。

事務局だより

“ 新入職員の横顔紹介 ”

沖縄市都市公園管理業務担当



中村 辰史

公園管理業務全般の補佐等を担当します

更に7万円被災者へ

未だに9000人以上の方が行方不明という大惨事、それに加え東電原発の避難者が今後も増えることが確実視されています。当センターでは、3月31日赤十字社へお届け後も義援金募集を行っていましたが、4月28日迄の善意7万3447円を連合を通して、全シ協へ送金させて頂きました。義援金募集活動は引き続き行なっております。被害に遭われた方が一日も早く元の生活に戻れますよう祈るばかりです。

編集後記

5月総会が終わり、いよいよ新年度本格始動です。総会で示された「中期事業計画」の主役はやはり高齢者です。

「あなたの生きがいは何ですか?」の問いに「友人と一緒に趣味やスポーツを楽しくやることです」「ボランティア活動をするのが生きがいです」

高齢者の8割以上の方が生きがい(喜びや楽しみ)を感じています。

内閣府の「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」より

また、地域社会と積極的に関わりを持つ高齢者ほど、健康余命が長いことが実証されています。

「シルバー人材センターの理念」がだぶって頭をよぎります。

多くの仲間と楽しく過ごせる幸せを感じます。

編集 平良 正吉

崎浜 和秀

田中 穰

写真協力 池宮 隆

仲村 睦秀

